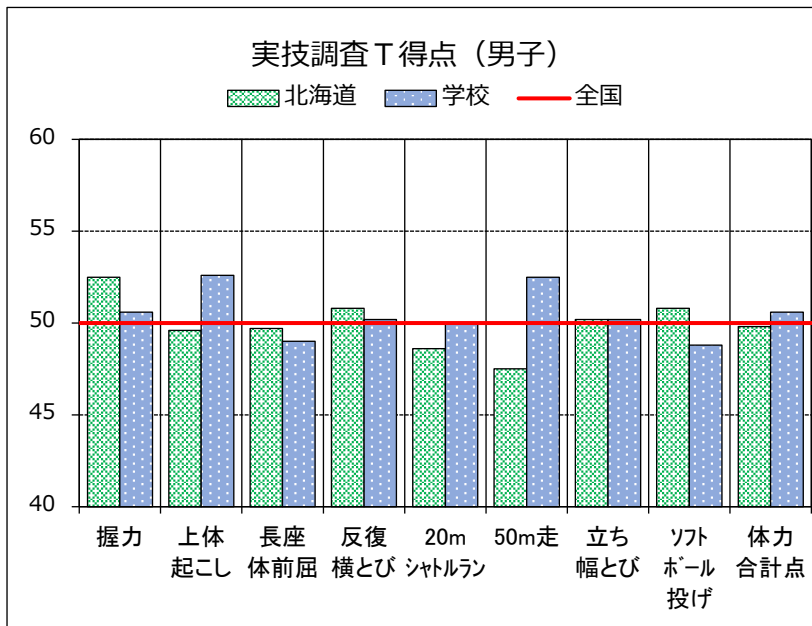


平成 29 年度 稲田小学校 5 年生 全国体力・運動能力調査から

本年度の全国体力・運動能力調査（5 年生）の結果が出ました。全国と全道の結果と比較して本校の児童の傾向をお知らせします。



<男子の結果から>

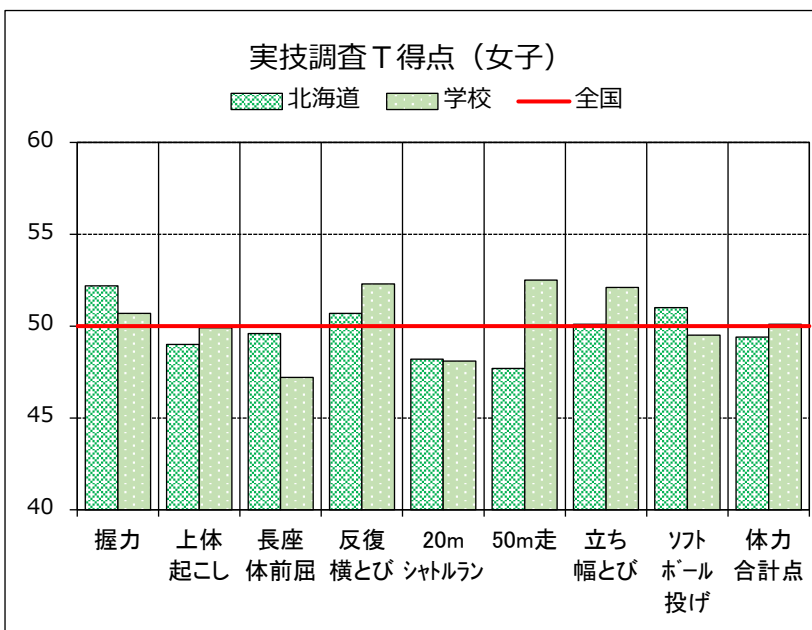
○実技では 9 項目中 7 項目で全国と同じか上回る結果が出ています。

○上体起こしと 50m走では大きく上回っています。昨年は 50m走に課題がみられたので、改善の傾向がうかがえます。

○体重については、正常値の割合が高いですが、中程度の肥満が全国に比べ多い傾向にあります。

○運動やスポーツが「好き」と答える児童の割合が全国より高いです。

●長座体前屈、ソフトボール投げについては全国平均を下回っています。長座体前屈については昨年も課題になっていました。



<女子の結果から>

○実技では 9 項目中 6 項目で全国と同じか上回る結果が出ています。

○特に反復横跳びと 50m走、立ち幅跳びでは大きく上回っています。昨年は 50m走に課題がみられたので、改善傾向がうかがえます。

○体重は、正常値の児童がほとんどで、肥満傾向の児童が全国に比べ非常に少ないです。

○1 週間の総運動時間は全国より上回っており普段から運動に親しんでいます。

●長座体前屈、シャトルランについては全国平均を下回っています。昨年も同様に稲田小学校の課題になっています。

<今後に向けて>

- ・ 今年度男子は 1 週間の運動時間が全道平均を上回り、女子は全道・全国共に上回っています。そんな、結果からも日常の運動習慣が体力の向上につながる結果が出ています。

学校では、今後も「わくわくルーム」（体づくりの運動ができる教室）や「ランランコース」（グラウンドにあるランニングコース）の活用や、「プログラム 10」（日常的に取り組める運動プログラム）を進め、学校全体で様々な運動ができる環境づくりを継続していきます。

- ・ 昨年度から 4 年生以上は体力運動能力調査の結果を一人一人に配布し、自身の体力や運動能力による現状や課題を学校と家庭が共有できるようにしています。体力の向上には、生活習慣や食生活の関連も深いことから、学校でも食育や生活習慣の指導に努めていきます。